

# 令和4年 **4**月の**優しさ**通信



## 「児童福祉司」増でケア拡充

### 虐待相談最多、人材不足に

- \* 児童虐待の相談件数が約 20 万件（2020 年度）と過去最多を更新。
- \* 国は 2022 年度までに人口 3 万人に対し児童福祉司 1 人を配置するよう定めています。
  - ・ 基準に達するのは 36 道府県（推計）。
- \* 児童福祉司：保護者の育児相談に応じたり、虐待されるなどした子供を保護したりする公務員。
  - ・ 2021 年 4 月時点の従事者は全国 4844 人。5 年で 1.6 倍に。
- \* 国内の児童福祉司数は、現時点で英国（3 万人）の 6 分の 1 程度。  
（2022 年 3 月 19 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



## 児童福祉司、採用柔軟に

### 奈良、教養試験を廃止 兵庫、受験年齢を拡大 大阪市 弁理士、専任職員

- \* 関西 6 府県の人口当たりの児童福祉司の人数は、2021 年時点で大阪府、京都府、和歌山県の 3 府県は全国平均を上回っています。
- \* 大阪市は 2019 年度から、市内に 3 か所ある児童相談所向けに弁理士資格を持つ人材を配置。
  - ・ 職員が判断に迷った場合は法的な観点から助言するほか、裁判所に提出する書類の作成を手伝います。
- \* 奈良県は 2021 年 10 月から受験者数を増やそうと教養試験を廃止。
  - ・ 受験者の多くは既に医療や福祉関係の資格を持っていたり、大学で福祉を学んでいたりするため、基礎学力を問う必要はないと判断。
- \* 兵庫県は県の児童福祉司採用試験を受験できる年齢の上限を、2020 年度から従来の 34 歳から 45 歳に引き上げ。見直しは 15 年ぶり。  
（2022 年 3 月 19 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



## 今月の福祉用具ーコミュニケーション関連用具

### 聴覚・言語障がい者のための福祉用具 補聴器

- \* 小型の電気拡声器。

\* 基本機能は音量調節と音質調整。

\* 特定の音や言葉だけを大きくする音の弁別機能はもっていません。

\* デジタル補聴器が主流。

・ 超小型のコンピュータを内蔵し、音をデジタル処理することによって聞きやすい音をつくろうとするもの。

・ 小さな音は十分に大きく、大きな音は必要以上に増幅しません。

・ 音の性質を分類し、雑音を低減し会話音声のみを強調するなど。

\* 補聴器の種類：箱形、耳掛け形、耳穴形、眼鏡形、骨伝導形など。

\* 操作性、電池の種類や寿命、ハウリングの起きやすさ、ファッション性、音源の方向認識性などでそれぞれ特徴があります。

☆ 難聴

伝音性難聴	* 外耳や中耳の病気や障害が原因。 * 音が伝わりにくくなる難聴。
感音性難聴	* 内耳と聴神経系の病気や障害が原因。 * 音として感じられなくなる難聴。

\* 耳の専門医で医学的な検査を受けることが必要です。

☆ 平均聴力レベルと会話聴取障害度（500Hz、1000Hz、2000Hz 3回実施）

25Db 以下	* 正常範囲。 * 聞こえの障害はないが、2000Hz 以上に顕著な聴力低下があると、会議・声の小さな人との対話等に支障を感じることもある。
26 dB～40 dB	* 小さな話し声・少し離れた人の話し声を聞いたときに支障を感じる事が少なくない。 * 通常の対話には支障を感じないものが多い。
41dB～55dB	* 通常の会話・普通の音量のテレビでも聞きづらいことが多い。
56dB～70dB	* 大きな声で話してもらっても、内容を理解できないことが多い。
71dB～90dB	* 耳に近づけて大声で話してもらわないと会話が理解できなくなる。 * 語音弁別能力が悪くなるため、声が聞こえても話の内容がわからないことが少なくない。
91dB 以上	* 補聴器で音量を十分に大きくしても話が分かりにくいことが多い。

\* 装用指導や家族へのカウンセリングを含め、アフターサービスのできる、認定補聴器技能者のいる専門店を選びます。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)